

羅漢さん

佛教を護る聖者たち

2019年

5月18日〔土〕—7月15日〔月・祝〕

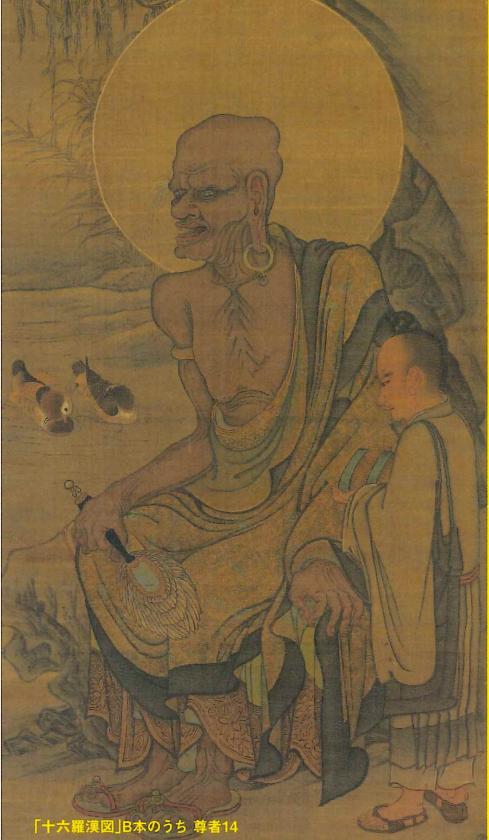
開館…午前10時～午後5時（入館午後4時30分まで）
休館日…月曜日（ただし、7月15日は開館）
観覧料…一般700円（550円）、大高生450円（350円）、中学生以下無料
※（）内は20名以上の団体料金
主催…公益財団法人香雪美術館、朝日新聞社

※作品保護のため、一部展示替を行います。

香雪美術館
KOSETSU MUSEUM OF ART

左：「十六羅漢図」B本のうち 尊者2、右：「十六羅漢図」A本のうち 尊者3

村山コレクションの「羅漢図」を一堂に。



「十六羅漢図」B本のうち 尊者14

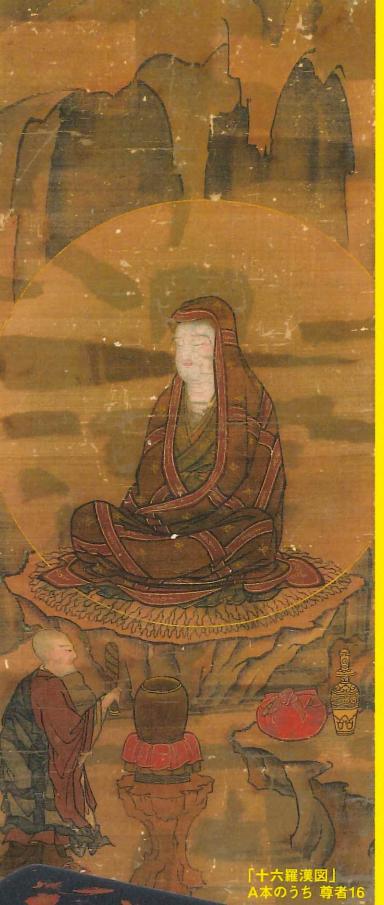
「羅漢図」を一堂に。



「十六羅漢図」B本のうち 尊者5



「十六羅漢図」A本のうち 尊者12



「十六羅漢図」A本のうち 尊者16



「羅漢図」



【交通案内】阪急「御影」駅南改札口より東南へ徒歩5分/JR「住吉」駅より北西へ徒歩15分/阪神「御影」駅より市バス19系統で「阪急御影」下車徒歩5分

香雪美術館
KOSETSU MUSEUM OF ART
〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1
Tel 078-841-0652
<http://www.kosetsu-museum.or.jp/mikage>

一覧
550円
+700円
※個人蔵のほかは全て村山コレクション。※羅漢の尊者番号は便宜的に付けたものである。
※個人蔵のほかは全て村山コレクション。※羅漢の尊者番号は便宜的に付けたものである。

梅園会(講演会と茶会)

「羅漢さんの住む世界—羅漢図とその儀礼」

講 師: 西谷功氏(泉涌寺宝物心照殿 学芸員)
開 催 日: 2019年6月2日(日)
開 催 時間: 講演: 午後1時 茶会: 午後3時から
定 員: 50名(応募多数の場合は抽選)
参 加 費: 3,500円 ※「羅漢展」の入場料を含みます。
締め切り: 2019年4月26日(金)必着

ギャラリートーク

会期中の毎週土曜日、午後2時から学芸員による
ギャラリートークを行います。

※ギャラリートークの聴講は無料ですが、別途見学会の鑑賞券が必要です。



「五鈷杵」



伝福茂「堆朱山水人物図香合」

【参加申込方法】

往復はがきに住所・氏名(返信用にも)、電話番号を明記のうえ、下記宛先までお送りください。はがき1枚につき1名のみ申込みできます。申込み受付後、参加費事前入金の案内を書面にて連絡いたします。

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1
香雪美術館「梅園会」係

「蓮池蒔絵箱」



には8世紀に伝わり、鎌倉時代以降に彫刻・絵画が盛んにつくられ、信仰されました。この春に中之島香雪美術館では特別展「明惠の夢と高山寺」を開催しますが、明恵(1174~1232)も釈迦追慕の念から羅漢を崇拝し、関係する書物を著し、複数の羅漢図を所持しました。

本展では、当館のコレクションを形成した村山龍平の収集品の中から、羅漢図を中心に、関連作品や羅漢を供養、讚嘆する場面に描かれた工芸品なども展示します。

羅漢は、正しくは「阿羅漢」といい、修行によって最高段階に達し、悟りを開いた人のことを指します。釈迦の教えを護り、未来へと伝える役割を担っているとされます。この信仰がインドから中国に伝来すると、羅漢たちは釈迦の入滅後に正しい教えを護りながら人々を救う存在となりました。日本には8世紀に伝わり、鎌倉時代以後に彫刻・絵画が盛んにつくられ、信仰されました。この春に中之島香雪美術館では特別展「明恵の夢と高山寺」を開催しますが、明恵(1174~1232)も釈迦追慕の念から羅漢を崇拝し、関係する書物を著し、複数の羅漢図を所持しました。

本展では、当館のコレクションを形成した村山龍平の収集品の中から、羅漢図を中心に、関連作品や羅漢を供養、讚嘆する場面に描かれた工芸品なども展示します。

明恵「十六國大阿羅漢因果識見頃」個人蔵